

南中だより

2021.03.15 発行
(第10号)

【 年度末を迎えて 】

先週3月12日(金)に第5回卒業証書授与式を挙行し、来週3月24日(水)には、1・2年修了式を控え令和2年度が終わろうとしています。今年度は、新型コロナウイルスに翻弄された1年間でしたが、様々な制約等がある中でも、子どもたちは毎日ひたむきに学習に取り組みました。ご承知のとおり、政府による緊急事態宣言が首都圏の1都3県において、3月21日まで再延長されるなど、日本のみならず世界各地において、新型コロナウイルスが今なお猛威を奮い続けています。こうした中、医療従事者からワクチン接種が徐々に開始されるようになりましたが、未だ収束の見通しがたっていません。春休みを迎えるにあたり、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていただきたいと思います。



1年生の授業風景

【 公立高校一般選抜(入試)について 】

今年度の徳島県公立高校一般選抜(入試)が、3月9日(火)に学力、3月10日(水)に面接の日程で実施されました。2日間とも本校の3年生は、元気に受検に臨むことができました。一般選抜結果通知(合格発表)は、3月17日(水)となっています。受検生全員に笑顔の春が訪れますように。

これから受検を控えた1・2年生の皆さんも、この機会に、日頃の生活を見直し、自分の進路についてよく考えて、毎日充実した生活を送ってほしいと思います。



入試前日の学年集会

教室や廊下には、応援メッセージ等がいっぱい

【 3年生修了式・授賞式 】

卒業証書授与式を翌日に控えた3月11日(木)、3年生の修了式及び授賞式を行いました。前日までの公立高校一般選抜(入試)を終えて、ほっとした表情の3年生が式に臨みました。帰りの学活終了後は、あと1日となった中学校生活を名残惜しむかのように、友だちや先生方と談笑する光景が随所で見られました。

また、放課後には各部活動でお別れ会を開催し、後輩からの心のこもった言葉やプレゼントに感激して涙する3年生の姿や先輩との別れに涙する1・2年生の姿が見られました。人と人との絆や出会いの大切さについて、改めて考えさせられる機会となりました。



修了証授与



授賞式



学校長式辞

【 第5回卒業証書授与式 】

3月12日（金）11時より、小松島南中学校第5回卒業証書授与式を挙行了しました。今年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業生・保護者・教職員のみでの式典開催となりましたが、厳粛な中で式典は執り行われ、120名の卒業生は希望を胸に、未来に向かって巣立っていきました。子どもたちの前途に幸多きことを祈っています。



卒業証書授与



厳粛な中での卒業式



卒業生退場

【 2年生校外学習について 】

今年度の2年生修学旅行については、実施時期の見直しや旅行先の変更等の検討を重ね、何とか実施する方向で模索してきました。しかし、未だに新型コロナウイルスの感染状況に収束の兆しが見えないため、子どもたちの健康・安全を第一に考え、泊を伴わない「県内校外研修」として実施することになりました。

3月19日（金）に、参加希望者で鳴門方面に校外研修に行きます。大塚国際美術館での鑑賞、大谷焼体験、及び鳴門市内のホテルでテーブルマナー講習会の受講等を予定しています。新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底した上での活動となりますが、子どもたちの心に残る研修になることを願っています。また、3月23日（火）には校内で研修を行う予定としています。



【 GIGAスクール構想について 】

令和2年6月に「学校教育の情報化の推進に関する法律」が公布・施行されました。それに伴い、子どもたち一人一人に応じた個別最適化学習を実現するために、校内ネットワーク環境LANが整備され、中学校卒業まで、子どもたち一人一人にタブレット端末が貸与されます。タブレット端末を電子黒板や教師用の端末と連動させることで、学習情報の共有化や内容の濃い授業を提供することが可能になる他、有事（非常変災等）の際には、オンライン授業等も可能になります。

小松島市におきましても、来年度から導入されます。なお、子どもたちへのタブレット端末の貸与は機器の設定のため、5月以降の予定です。



【 桜の季節に想う 】

毎年、卒業式・入学式のシーズンになると、各地で美しい桜の花が咲き誇ります。桜は、古くは万葉集にも詠まれ、日本の国花の一つとして有名ですが、なぜ日本人は桜の花に魅了されるのでしょうか。

人生には、困難はつきものです。むしろ困難こそが自分を高めてくれると言えるでしょう。桜の木は、たとえ風雨にさらされても、不満の一つもこぼしません。ただあるがままにすべてを受け入れながら、毎年美しい姿で凛と咲き、最後は散っていきます。しかし、その散りゆく姿さえ美しく、見る者を感動させてくれます。

「無常」という言葉は、どこか悲壮感がついてまわるものですが、散りゆく桜が教えてくれる「無常」は、人々の心を魅了しながら美しく咲き誇り、役目を終えた後、次への準備に備えているかのように、その姿には崇高さすら覚えます。私たちも困難にもじっと耐え、これを克服し、桜の花のように生きる喜びを精一杯表現しながら、日々力の限りひたむきに生きていきたいものです。



日本の国花「桜」